

岩手穀物加工食品輸出コンソーシアム

お話をお聞きした方

左：会長（㈱八木澤商店代表取締役）
河野 通洋 さん

右：事務局長（㈱相庄代表取締役社長）
佐藤 貴哉 さん



「岩手の穀物加工食品」の共通 コンセプトの下で輸出を！

岩手県は広大な農地や変化に富んだ気象条件など農業資源に恵まれ、米・小麦・大豆・雑穀などの穀物の生産も盛んな地域です。

また、これら穀物を加工した多種多様な商品が県内各地に存在しています。この「穀物」という共通コンセプトの下、穀物や穀物を加工した食品を製造・販売する事業者や国内外の商社が参画し、連携して輸出に取り組むため、令和6年1月にコンソーシアムを立ち上げました。

コンソーシアムは、地方も含めて日本食への関心が高く、評価も高いことなどから輸出対象国をフランスとし、展示会への出展や、現地のバイヤーやホテルのシェフを招いた試食会を実施するほか、バイヤーやシェフを国内に招聘し、メンバーの事業所の視察や商談などを行うこととしています。

フランスでの活動にあたっては、メンバーの中に、フランスでコンサルタント業務や日本食材店を営んでいる日系事業者と接点のある事業者がいることから、現地ニーズの紹介や取引にあたってのアドバイスといったサポートを受けながら取組を進めて行くこととしています。



フランスの日本食材店と店内の様子

また、それぞれの既存の取引先を紹介し合ったり、海外輸送にあたってはコンテナの混載を行うなど、コンソーシアムとして連携するメリットを最大限活かした取組を行うこととしています。

このような取組を通じ、岩手の穀物や穀物加工食品の海外マーケットにおける認知度を向上させ販売機会を創出することで、各事業者の輸出を拡大するとともに、岩手の穀物自給率の向上を目指すこととしています。

Q. コンソーシアムを立ち上げたきっかけは？



各メンバーは既にある程度輸出に取り組んでいます。ただ、輸出を更に拡大するにはブランド力の低さが課題の一つとなっていることから、連携して「岩手の穀物加工食品」の輸出とブランド力向上に取り組むこととしました。

Q. メンバーはどのように集まったのですか？



県内で穀物や穀物の加工食品の輸出に取り組んでいる事業者に声をかけをし、その中でも「確実に輸出で売上を上げていく！」というやる気のある事業者が集まることとなりました。

Q. フランスを対象国としたのはなぜですか？



世界的に見ても輸入規制の厳しいEU圏への輸出にまず取り組むことで、メンバーの体制整備や輸出ノウハウの底上げを図り、将来的には各メンバーがこの国へも輸出できることを最終的な目標としているからです。

Q. 事務局の負担は大きくないですか？



事務局機能はとても重要だと考えています。このため、当面はメンバーのうちの2社で連携しながら務めることとしています。取組を進めながらどのような体制が最も適切なのか、模索していくこととしています。

輸出までの道のり

STEP 1/4

令和6年1月
「岩手穀物加工食品輸出コンソーシアム」の立ち上げ



STEP 2/4

令和6年9月～（予定）
フランスのバイヤーやシェフを国内に招聘し、産地視察や商談を実施



STEP 3/4

令和7年1～2月（予定）
フランスの展示会へ出展、試食イベントを実施



STEP 4/4

フランス以外の国も含めた輸出拡大へ



団体概要

所在地 岩手県
設立年 2024年
HP -
会員数 9社